

次号予告

特集 自然災害と防災研究

昭和50年代の風水害と課題	岸井 徳雄 (防災科学技術研)
地震防災における意思決定	岡田 成幸 (北海道大学)
土砂災害とその教訓	諏訪 浩 (京都大学)
近頃雪崩災害を忘れていませんか	和泉 薫 (新潟大学)
「地震予知」は可能か?	松村 正三 (防災科学技術研)

編集後記

●新年度も早いもので約2カ月が経過しました。職場を異動された方も新しい環境や生活に慣れた頃ではないでしょうか。かくいう私も、昨年、社会人になって初めての異動を経験しました。これまでとは異なり、社会人大学院生を対象とした職場になりました。赴任当初は、私よりも年長の学生との接し方や、応用を中心に学生のニーズを取り入れた講義内容の作成といったことで悩みました。しかし、この異動は私にとって、自分自身や自分自身の研究に対する姿勢を見つめ直すよい機会になると感じ始めたのがこの時期でした。(数年で膨らんだ荷物の整理もできました)

●当専攻に在籍している学生の職種は多種多様です。そのような学生と1年間接して感じたことは、実務(企業)の世界では、ORを活用できる問題が山積しているにも関わらず、現実にはあまり応用されていないということでした。当学会には企業の方も数多く入会されていますが、研究発表会等での発表は大学の方が圧倒的に多く、また、発表内容自体も理論的なもの

が多いのが現状ではないでしょうか。これでは、企業の方にとって、「OR」は「経営の科学」であるにも関わらず、経営には向かない理論的な世界と認識されてしまうのではないのでしょうか。それを避けるためにも、われわれ大学人は、理論的な研究と共に応用寄りの研究にももっと目を向けるべきではないかと考え始めています。皆さんはどのように感じられますか?

●さて、来月にはサッカーW杯フランス大会が開催されます。時差の関係で寝不足のスポーツ観戦になるのは必至ですが、スポーツを実践してリフレッシュしようと思っています。(都内の「痛勤」にも慣れました。)みなさん、研究の合い間をぬって、一緒にスポーツしませんか?

●今年度から、「OR学会だより」を担当させていただいております。この欄は学会と会員との情報交換の場です。会員の皆様方からのご意見ご要望を取り入れて、より充実した内容にしていきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

(猿渡康文)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東電ソフトウェア㈱)、栗田治(慶応義塾大学)、笹山晋一(東京ガス㈱)、猿渡康文(筑波大学)、椎名孝之(勸電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、外嶋成留(住友金属工業㈱)、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、原 裕淳(㈱東芝)、宮崎知明(富士通㈱)、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成10年5月号 第43巻 第5号 通巻449号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 大山達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ